

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	もりや くにひこ		
氏名	守屋 邦彦		
所属	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部観光デザイン学科		
役職	准教授		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒	112-8687 東京都文京区大塚1-5-2
	電話番号	03-3941-7420	
	メールアドレス		
キャッチコピー	『観光による地域活性化の戦略検討・実施をサポート』		
自己PR	20数年間のシンクタンク研究員としての実務において、観光による地域の活性化のための計画・戦略づくり、及びそれに基づく地域の関係者が主体となった持続的な活動の推進・マネジメント、また、MICEやブリーチャー/プレジャー(Bleisure)、ワーケーション(Workation)などのビジネスが関係する旅行に関する事業・研究を多く手がけてきました。こうした経験から得られた知見をもとにしながら、現在は観光政策や観光地づくり、ビジネス・ツーリズムを主なテーマとして、研究・教育を行っています。また、学生とのフィールドワークを通じて、観光地づくりをサポートしています。		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	跡見学園女子大学(観光コミュニティ学部)	https://www.atomi.ac.jp/univ/faculty/tourist_community/	
	跡見学園女子大学(教員紹介)	https://www.atomi.ac.jp/univ/faculty/professor/enrollment/list/487/	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p>東京都出身</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1999年4月～2006年10月 株式会社三菱総合研究所 国、地方自治体等の地域振興に関する調査・コンサルティングに従事 ◆2006年11月～2023年3月 公益財団法人日本交通公社 国、地方自治体等の観光振興に関する調査・コンサルティングに従事 ◆2023年4月～ 跡見学園女子大学 観光ランドデザイン、グローバルツーリズム、コンベンション管理(MICE)、観光法規・倫理などの科目を担当 ◆2018～2021年: 大学コンソーシアム八王子「学生発表会観光セッション」審査員 ◆2019年: 観光庁「MICE参加者におけるプレジャー促進事業検討会」委員 ◆2020年～: 新潟県胎内市「観光活性化推進委員会」委員 ◆2023年～: 横浜市「海づり施設等指定管理者選定評価委員会」委員 <p><資格等></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆技術士(建設部門:都市及び地方計画) ◆総務省 地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録) ◆ふるさと財団 地域再生マネージャー 		
3. 取組分野			
● 観光	(行政や観光推進組織の観光活性化戦略・計画の立案及び実施サポート、観光客関連データの分析)		
移住・定住・関係人口	()		
農林水産業	()		
起業支援	()		
まちなか再生	()		
集落再生	()		
環境	()		
その他	()		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2010年度～11年度 新潟県胎内市 「胎内市米粉を軸にした地域食材活用による観光まちづくり」 ◆2007年度～08年度 北海道釧路市 「合併効果を活かした観光まちづくり推進事業」 		



5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 :胎内市観光活性化調査[第2次胎内市観光振興ビジョン策定業務](2018年度)</p> <p>(2)対象地 :新潟県胎内市</p> <p>(3)事業目的:胎内市の今後10年間の観光振興の方針や戦略を定めるビジョンの策定</p> <p>(4)事業内容: 2008年に策定された「胎内市観光振興ビジョン」(※自身も参画)の10年の計画期間が経過したことから、地元関係者をメンバーとする検討委員会を立ち上げ、これまでの取組を検証した上で、新たな戦略を定めたビジョンを策定した。</p> <p>(5)事業による成果: 同ビジョンで掲げた「観光推進体制の強化」に基づき、観光関係者間の連携推進を役割とする人材が配置された。また、ビジョンで掲げた各種取り組みの進捗を確認する委員会を年1～2回開催(※自身も参画)を立ち上げた。これらの実行により、着実に各種取組が推進されている。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 :道の駅から発信するオリジナルブランド創出による地域活性化推進業務(2018-2019年度)</p> <p>(2)対象地 :神奈川県茅ヶ崎市</p> <p>(3)事業目的:市内での道の駅整備と連動した、市の各種魅力を活かしたオリジナルブランドの創出・発信</p> <p>(4)事業内容: 市内での道の駅整備が進んでいることを背景に、道の駅更には市内で販売するオリジナルブランド商品創出に向け、ブランドコンセプトの設定やブランド品目認定の仕組みづくり、シンボルマーク・ブランドブック等の制作を行った。</p> <p>(5)事業による成果: オリジナルブランドを紹介するHP(https://www.chigasaki-brand.jp/)が立ち上がるとともに、制作されたツールを活用し様々な機会でもオリジナルブランドの紹介等情報発信が行われている。また、2025年3月現在28品目がブランド認定されている。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p>